

小さく生まれた  
あかちゃんの  
発達の特徴と対応

Q & A

ママからの質問に答えます



Q 1. 早産児のママが搾乳や授乳を続けるコツは？

**A** 母乳は栄養吸収や疾患を予防する点でとても優れた栄養です。加えて、早産児を出産したママは、カロリー豊富な“早産児用の特別な母乳”を作ることがわかっています。特に初乳は免疫成分やホルモンが多く含まれており、ごくわずかでも、口の中へ垂らすだけでも赤ちゃんへの効果が期待できます。生まれてまもない早産児は栄養チューブから母乳を注入しており、腸の動きに注意しながら毎日少しずつ母乳量を増やしていきます。その間、ママは搾乳した母乳を赤ちゃんに届けることとなります。搾乳は**出産後できるだけ早くから、頻繁に行う**ことが大切で、母乳量を増やして維持することが可能です。保育器から卒業できる頃（一般的には35週くらい）になると、母乳の練習が始まります。はじめのうちは、抱っこしただけで赤ちゃんが眠ってしまうく吸えないかもしれません。繰り返し練習をしながら、ママと赤ちゃんで授乳のコツをつかんでいきましょう。思うように搾乳、授乳ができないときは、一人で悩まず医療スタッフに相談してください。

- 初めて対面した時は、小さくて抱っこもできない状態だったのに、1日1日小さな成長（できたこと）が、凄いことだと知り、すごいねー！えらいねー！と褒めて、抱っこできる日を楽しみにしていた。小さくて初授乳がなかなかできなくて、成功した時は感動でした。（27週、現在3歳）
- 初めて抱っこした時は小さすぎて、緊張でドキドキしました。でもそれ以上に嬉しかったのを覚えています。（24週、645g出生、現在1歳）

## Q 2. ふたごあるいはみつごの場合には特別な注意が必要ですか？

**A** 新生児期はひとりにつき10回以上と授乳回数が多く、ふたごやみつごをもつママは倍以上になります。同時に母乳をあげられる楽な姿勢や、ひとりが母乳で一人がミルクなど、いろいろな工夫があります。お風呂や着替えは安全を優先して、人手のある時間に入れることや、目の届くところで行う工夫が必要です。成長や発達の数値については、ふたごやみつごでも同じではないため、発達や性格の違いを個性や魅力として捉えるとよいと思います。家族のサポートに加え、家事や外出など、市町村のサービスが利用できることがありますので、気軽に相談してください。(市町村相談窓口→P61)

## Q 3. 首がすわる、お座り、歩くなどは、「出生後何か月（暦年齢）」で考えますか？

**A** 早産児の運動発達は、出産予定日から数えた**年齢（修正年齢）**で考えます。すなわち、予定日より3か月早く生まれた赤ちゃんは、生後の年齢から3か月を引くことで発達のおおよその目安になります。

## Q 4. 発達を修正年齢で考えるのは何歳まで？

**A** 修正年齢で発達を評価するのは**3歳ごろまで**です。3歳以降も発達がゆっくりな場合は、「発達の遅れ」と判断し療育支援が必要です。子どもの特徴や困りに気づいて支援を行うことで、お子さんの持っている力を最大限伸ばしてあげましょう。

○8ヶ月ちょっとで生まれましたが、元気にすくすく成長しています。

(28週、1,094g 出生、現在0歳)

○初めて娘を抱っこした時は小さい、軽い、だけど、とても重たい命を感じたことをすごく覚えています。(29週、565g 出生、現在1歳)

## Q 5. 予防接種は暦年齢と修正年齢、どちらで接種しますか？

**A** 早産児であっても予防接種は**暦年齢で接種**します。生後2か月以降で赤ちゃんの状態が安定し、医師が予防接種可能と判断した場合は、NICU入院中から予防接種が始まります。ただし、赤ちゃんの状態が不安定な場合や免疫に関係する特別な治療を受けた場合は、ワクチンスケジュールを調整することがあるため、主治医に相談してください。

## Q 6. RSウイルス感染症の予防薬があると聞きましたが…

**A** RSウイルスは咳、鼻水、喘鳴などの呼吸症状を引き起こすウイルスです。RSウイルス重症化予防のため、重症化リスクが高い36週未満の早産児や慢性肺炎患の赤ちゃんには、月1回パリピズマブ(シナジス)を投与が推奨されています。RSウイルスは地域によって流行状況が違い、妊娠週数によって投与回数も異なるため、具体的な治療に関しては医師に確認してください。

## Q 7. 離乳食はいつからスタートしたらいいでしょうか

**A** 「上手に食べる」ためには、安定した姿勢をとり(首がすわる)、舌や口、飲み込む力が発達していることが大切です。食事に興味を持ったり、指しゃぶりや口におもちゃを入れるなども食べる力が備わってきたサインです。一般的に離乳食は生後5～6か月ごろから開始しますが、早産児の離乳食開始時期は**修正年齢で考えます**。呼吸状態が悪い、発達がゆっくりの場合は主治医と相談してさらに遅らせても構いません。焦らず、赤ちゃんの様子を見ながら判断しましょう。月齡にとらわれず、発達段階に合わせて進めていく事が大切です。

○いろんな機械に繋がれてて、触るのが少し怖かった。

(24週、882g出生、現在1歳)

○1ヵ月近く抱っこもできず、とても辛かった。でも、看護師さんや先生たちが毎日、昨日はこんな表情していましたよとか面会時間外のこともいろいろ報告してくれて、それがとても励みになっていました。今では7歳になりとても元気に学校を楽しんでいます。(26週、971g出生、現在7歳)

## Q 8. 食べるのが遅く、少食です

**A** 早産児は幼児期以降も食べるのが遅い子や少食、肉の塊を飲み込めずいつまでも噛んでいる子が多いです。中にはにおいや触感に敏感で偏食が強いお子さんもいます。食事を細かくして混ぜたり、調理法を工夫をするなど、無理強いせず楽しく食事ができるよう、主治医、市町村の保健師・栄養士等へも相談してみましょう。

## Q 9. 乳幼児健診は受けた方がよいでしょうか

**A** 市町村が行う乳幼児健診は、診察以外にも、栄養、歯科、発達を含めた子育てに関する相談や情報提供を行う場となっています。出生病院での個別フォローアップに加え、ご家族がこれからの子育てに役立つ地域の情報を得られる貴重な機会でもあります。

初めての集団健診受診のタイミングについては、主治医とも相談し、同じ月齢の子が集まる場へ行くことが気になるなど、ご心配なことがある場合は、お住まいの市町村の保健師等へご相談ください。



- 生まれたては小さすぎて、なかなか現実を受け止めることができませんでしたが、日に日に成長してくれている姿に親も成長することができました。体重が1g、飲める母乳が1ml増えるごとに、当たり前のことにありがたみを強く感じました。(26週、919g出生、現在2歳)
- はじめはごめんねと泣きながら顔を見ていました。どんどん大きくなって安心して、私も頑張らないと思いました。娘が生まれてからはじめての連続で、毎日楽しいです。(27週、731g出生、現在10か月)

ママ・パパたちの活動紹介

小さく生まれた  
赤ちゃんのこと、  
みんなで話そう  
考えよう

「やんばるちびっこの会」  
の紹介



## やんばるちびっこの会と

沖縄県北部を中心に「低体重で生まれた子」を持つ親が集まる会として 2016 年に活動を始めました。

会といってもそんな堅苦しいものではなく、子連れでまったりできる「ゆんたく会」です。

低体重で生まれた子を持つ親だけでなく、発達に問題があったり、ケアが必要な子だったり、とにかく気軽に集まれるような場になればということで「来たいなあ〜」と思う方なら誰でも参加できます。

うちの子は小さく生まれたゆえに、小さな頃は入退院を繰り返し、小児科病棟の常連になっている事がありました。自然と看護師さんとも仲良くなり、同じく常連さんともよく顔を合わせるように。入院中、酸素や経管栄養をしている子に親近感を覚え、声をかけているうちに、もっと話したい!!集まりたい!!という思いでうまれました。

○31週で早く出産し、心配だったけど、娘の力強い産声を聞いて安心しました。

(31週、1,635g出生、現在6歳)

○早く産んでしまった時は、毎日自分を責めていましたが、今すすく大きく育つ娘を見て、あの時の経験でより強い母になれているかな…と感謝の毎日です。生まれてきてくれてありがとう。(29週、1,179g出生、現在4歳)

最初の1回目は公民館の和室を借りて、一緒に会を発起した県立北部病院の看護師さんと私、病院で声をかけた3組の親子で開催。在宅看護あるあるや、医療制度や福祉の情報交換など大いに盛り上がりました。その後も入院患者さんへの看護師さんの声掛けや SNS、手作りのチラシを見た方が会に参加して下さり、繋がりや広がり多くのご家族と出会うことができました。

会の存在を知りつつも、お子さんの状況を受け入れる事に必死で、参加まで足が向かない、という方もひとりやふたりではありません。思い切って参加するのに1年以上かかった方もいらっしゃいました。

出会った頃は医療ケアをしていた子供が歩いていた。ランドセルを背負っていたり。野球を始めたり。おしゃべりも上手に。一緒に成長を喜べるのもこの会の特徴です。

不定期ですが、対面での開催、オンラインでの開催も行っております。また、やんばるだけに留まらず今では沖縄市や那覇でも開催していますのでお近くの場所でお会いできればと思います。

望んでなった結果ではないゆえに、同じ思いをしたからこそ分かち合えることはとても多いと感じています。アウトプットするだけでも気持ちは楽になるはずですよ。

やんばるちびっこの会は「親御さんの為」の会です。ご自身のペースで、ほんの少し前を向けた時に、つながりが欲しい時に、いつもそこにある存在としてあり続けたいと思っています。

やんばるちびっこの会代表 石上 朱美  
(24w3d 690g 9歳)

やんばるちびっこの会～低出生体重児親の会～  
MAIL:oki.yanbaru0980@gmail.com  
Facebook:<https://m.facebook.com/yanbaruchibikko/>



- 保育器の中にいた娘、今ではきょうだいの中で一番元気です。  
(32週、1,500g出生、現在3歳)
- 日に日に少しずつ体重が増え、頑張って成長している息子を見て、母もポジティブに気持ちを持つようになった。(32週、1,999g出生、現在1歳)
- 少し小さく生まれたけど。元気で生まれてくれてありがとう。  
(1,660g出生、現在7歳)

## 各種制度・相談窓口

## ◆みんなが受けられる制度

このハンドブックをもらったほとんどの方があてはまる制度です。一部、所得等の要件や市町村により異なる場合があります。

## 医療や母子保健サービス

制 度	制 度 の あ ら ま し	相談窓口			備 考
		市 町 村	医 療 機 関	保 健 所	
低体重児の届出	母子（親子）健康手帳に折り込まれている低体重児出生届を速やかに市町村へ届け出ることによって、支援が必要なお子さんや家族がいることを市町村が把握するきっかけの一つになります。	○			
先天性代謝異常等検査	フェニルケトン尿症等の先天性代謝異常や先天性甲状腺機能低下症等の内分泌異常を早期発見・早期治療することにより、心身障害の発生を防止します。（検査料は公費負担、採血料は自己負担）		○	○	
新生児聴覚検査	新生児の約 1,000 人に対し 1 人は先天性難聴を持っているとされております。先天性聴覚障害の発見の遅れは、言語や知能の発達の遅れに繋がることから、早期に発見し適切な支援を受け聴覚障害による影響を最小限に抑えることが重要です。なお検査については各産科医療機関にお問い合わせ下さい。検査費は個人負担となりますが、一部公費負担している市町村があります。	○	○		
新生児・未熟児訪問指導	生後 28 日以内の赤ちゃんや小さく生まれた赤ちゃん、その保護者は、保健師または助産師などによる訪問指導が受けられます。	○			
乳幼児健康診査	全市町村で、小児科医、歯科医、保健師、栄養士、臨床検査技師、心理士など専門職により行う、無料の健診です。病気や障害の早期発見や対応、発達の確認だけではなく、健康管理の方法や子育てに関する相談、地域で活用できるサービスの情報提供等が受けられる機会です。	○			
予防接種	予防接種法に基づいて市町村が実施する定期接種と、ご家族が接種を判断する任意接種があります。種類や受ける時期については、主治医や市町村へご相談ください。	○	○		

## 医療費の助成

未熟児養育医療	2,000g 以下の赤ちゃん、または、身体機能が未熟なため入院を必要とする未熟児に対して、指定医療機関における医療費を公費で負担します。なお、世帯の所得に応じた自己負担金があります。	○	○		
こども医療費助成事業	こどもの医療費（健康保険等の規定による医療費の自己負担金）の助成を受けることができます。なお、対象年齢や助成内容は市町村により異なります。	○			


## 手当

児童手当	中学校卒業まで（15 歳の誕生日後の最初の 3 月 31 日まで）のお子さんを養育している方に対し支給される手当です。	○			
------	---	---	--	--	--

## ◆病気や障害などがあるお子さんが使える制度

制度の対象になる病気や状態であるかについては、まずはかかりつけの医療機関へご相談ください。

## 手当・給付

制 度	制 度 の あ ら ま し	相談窓口			備 考
		市 町 村	医 療 機 関	保 健 所	
特別児童 扶養手当	20歳未満の身体や精神に障害（1・2級）のあるお子さんを養育する父母または養育者に対し支給される手当です。対象となる障害の種別や程度の規程があり、医師の作成した診断書（指定の様式）を提出する必要があります。	○	○		
障害児福祉 手当	在宅で、心身に重度の障害（おおむね障害手帳1級、2級、療育手帳Aの一部、極めて重度な精神障害、内部疾患、難病など）があるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする場合で、一定の要件を満たした場合に支給される手当です。対象となる障害の程度の規程があり、医師の作成した診断書（指定の様式）を提出する必要があります。また、一部所得制限があります。	○	○		市町村の 児童福祉 関係の相 談窓口
補装具の給付	身体に障害がある、または難病のお子さんが、日常生活での身体の不自由を補うため、車いすや補聴器等の補装具の交付や修理を受けることができます。一部自己負担金があります。購入前の申請が必要であることや、他の制度が利用できる場合は対象外になることがあるため、市町村へご相談ください。		○		<a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/shonenkodomo/9264.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/shonenkodomo/9264.html</a>
小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業	小児慢性特定疾病医療費助成制度の受給者に対し、たん吸引器や吸入器、パルスオキシメーター等、日常生活用具の給付を行う事業です。	○			
日常生活用具の給付	在宅で、身体や知的に障害がある、または難病のお子さんに対し、日常生活の便宜をはかるため、ベッドやシャワーチェア等、頭部保護帽、移動スロープ等の日常生活用具の交付を受けることができます。手帳に記載されている障害部位や等級、身体の状態によって、対象となる用具が異なります。購入前の申請が必要であることや、他の制度が利用できる場合は対象外になることがあるため、市町村へご相談ください。		○		

## 医療費の助成

自立支援医療（育成医療）	身体に障害がある、またはそのまま放置すると将来障害を残すと認められる疾患がある18歳未満のお子さんが、手術等短期間の治療で確実な治療効果が期待できる場合に、指定医療機関において行う治療の医療費を公費で負担する制度です。なお、世帯の所得に応じた自己負担金があります。	○	○		
小児慢性特定疾病医療費助成制度	小児慢性特定疾病（こどもの指定難病）にかかっているお子さんが、指定医療機関において行う治療等にかかった医療費の一部を公費で負担する制度です。なお、世帯の所得に応じた自己負担金があります。		○	○	※那覇市は那覇市保健所へ申請
重度心身障害者医療費助成	身体障害者手帳の障害程度が1級か2級、または療育手帳の障害程度がA1かA2に該当する場合で、一定の要件を満たした場合に、医療費の自己負担分を助成する制度です。	○			※手帳については、「手帳の交付」を参照

## 手帳の交付

各種手帳の交付（身体/精神/療育）	身体、精神、知的障害のある場合に、各種手帳が交付されます。手帳により、各種障害福祉サービスの給付等を受けることができます。重度の場合には、重度心身障害者医療費助成等の支援が受けられる場合があります。指定医の作成した診断書・意見書（指定の様式）を提出する必要があります。	○	○		
-------------------	--	---	---	--	--



◆医療的ケアのあるお子さんに関する制度の情報

医療的ケアのあるお子さんをもつご家族向けの情報です。

ガイドブック	内 容	リンク先 (QRコード)	お問い合わせ先
医療的ケア児と 家族の育児・療育 サポートガイド・ アクセスマップ (北部・中部圏 域・那覇市)	一部の圏域では、医療的ケアのあるお子さんとご家族、支援機関向けに、成長段階に合わせて利用できる制度やサービスが一目でわかるよう、サポートガイド(アクセスマップ)が作成されています。 各ガイドブックについては、下記ホームページ(またはQRコード)より閲覧可能です。	北部圏域 	北部圏域 子ども生活福祉部 北部福祉事務所 (地域福祉班) 0980-52-0051
	北部圏域 <a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/fukushi-hoku/fukushi/syougai-hattatu-ibennto/iryoutekikeaji.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/fukushi-hoku/fukushi/syougai-hattatu-ibennto/iryoutekikeaji.html</a> 中部圏域 <a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/fukushi-chubu/chikihukusi/iryoutekit-keaji.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/fukushi-chubu/chikihukusi/iryoutekit-keaji.html</a>	中部圏域 	中部圏域 子ども生活福祉部 中部福祉事務所 (地域福祉班) 098-989-6603
	那覇市 <a href="https://www.city.naha.okinawa.jp/fukusi/syougai/enjoyo/iryoutekikeaji.html">https://www.city.naha.okinawa.jp/fukusi/syougai/enjoyo/iryoutekikeaji.html</a>	那覇市 	那覇市 福祉部 障がい福祉課 相談グループ 098-862-3275

災害時の準備情報サイト

サイト名	内 容	リンク先 (QRコード)	お問い合わせ先
在宅難病患者遠隔 医療支援サイト 「えんぼーと」	「えんぼーと」とは難病患者様と そのご家族、医療、介護に関わ る方たちのサポートを目的とし たポータルサイトです。 難病に関わる全ての方々「有 益かつ円滑な情報共有を行う場 や仕組みの提供」を行います。  URL <a href="https://www.enport.jp/index.jsp">https://www.enport.jp/index.jsp</a>		えんぼーと事務局 (認定 NPO 法人 アンビシャス内) 098-951-0567


## ◆相談窓口

## 妊娠・出産・子育て等の相談

市町村では、妊娠から出産、子育てに関して保健師や助産師などが相談・支援を行っています。

ママだけ先に退院しても電話や家庭訪問で相談できます。


赤ちゃんに必要なものや家事・きょうだいのお世話などのサポート、ママの産後ケアや赤ちゃん訪問のほか、地域によって様々な行政サービスを利用できますので、お気軽にご相談ください。

市町村母子保健相談窓口・ 母子健康包括支援センター  沖縄県地域保健課ホームページ <a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/chiikihoken/boshi/boshihoukaku-shichouson.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/chiikihoken/boshi/boshihoukaku-shichouson.html</a>	
---	---

## 発達障害の相談


施設名	相談内容	リンク先 (QRコード)	お問い合わせ先
沖縄県発達障害者支援センターがじゅまーる	発達障がい児への支援を総合的に行い、支援体制の整備を図る拠点機関です。 ご家族への直接的な支援をすべて担うのではなく、より身近な地域で細やかな支援ができるよう情報を発信しています。 専門的な療育が必要になった場合や、学校の特別支援教育に関する相談先についても、ホームページ掲載の『発達障がい児者に関わる相談・支援機関リスト』にて情報提供しています。		098-982-2113 ホームページ <a href="https://www.okinawa-gajyumaru.jp/about">https://www.okinawa-gajyumaru.jp/about</a>
沖縄県障害福祉課 〔「えいぶる」について〕	お子さんの発達が気になるご家族等を対象に、各ライフステージでスムーズな支援情報の引き継ぎ、共有が図れるよう、お子さんの発達特性、支援経過等の情報をつづる冊子「えいぶる」を作成しています。		各市町村窓口 (県ホームページ記載)

## 耳のきこえの相談



施設名	相談内容	リンク先 (QRコード)	お問い合わせ先
きこえの支援センター	きこえに問題が疑われる児の家族や関係者からの電話やFAX、メールなどの問い合わせに言語聴覚士が対応します。		098-895-1739 月～金/ 9:00～17:00 (祝日除く)

## おきなわリトルベビーハンドブック

### 子育て支援サービス

事業名	内容	リンク先 (QRコード)	問い合わせ先
ファミリー・サポート・センター事業	ファミリー・サポート・センターとは、育児の援助を受けたい人で行いたい人が会員となって、地域で相互援助活動を行う組織です。兄弟児の預かりや、保育園のお迎えなどのサポートが受けられます。 登録や利用方法、料金等については、お住まいの市町村が設置等しているファミリー・サポート・センターで確認できます。		市町村の設置するファミリー・サポート・センター  施設一覧掲載先 (県子育て支援課ホームページ) <a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/kosodate/famisapo.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/kosodate/famisapo.html</a>

### ふたご（多胎児）に関する情報

団体名	活動内容	リンク先 (QRコード)	ホームページ等
一般社団法人 日本多胎支援 協会	多胎児に関する情報の普及、調査研究、多胎育児支援に関わる個人・サークル・子育て支援拠点などの団体、地域多胎ネット及び専門職の活動を支援している団体です。		<a href="https://jamba.or.jp/">https://jamba.or.jp/</a>
一般社団法人 沖縄多胎ネット	2022年10月に設立された、当事者会等の多胎家庭との繋がり構築、多胎児支援の充実を図る活動を行う団体です。		お問い合わせ okinawa.tatainet@gmail.com  instagram <a href="https://instagram.com/okinawa_tatainet?igshid=YmMyM-TA2M2Y=">https://instagram.com/okinawa_tatainet?igshid=YmMyM-TA2M2Y=</a>

# MEMO

A large rectangular area with rounded corners, containing 20 horizontal dashed lines for writing.

## 先輩ママ・パパのメッセージ

このハンドブックには、各ページに、先輩ママ・パパ、家族から寄せられた体験談や、このハンドブックを手にしたご家族へのメッセージがちりばめられています。各ページには収まりきれないぐらい集まった、たくさんの声を紹介していきます。

○生まれてしばらくは毎日心配でしたが、小さく生まれた割には頑張って母乳をたくさん飲んですくすくと成長し、今では小さく生まれたのが信じられないくらい大きくなりすぎ、おてんばに育っています。私も娘が生まれた時期に、知らない人に「小さく産んで、大きく育てなさいって言うよ」と言われたのに気持ちが救われました。なので、同じことを伝えたいと思いました。

(35週、1,936g出生、現在9歳)

○小さくて不安なことが多かったけど、日々成長を見れるのが楽しかったです。

(32週、1,258g出生、現在8歳)

○小さく生まれ心配事は絶えなかったけれど、現在元気に育ってくれて嬉しい日々です。

(33週、1,634g出生、現在3歳)

○初めて見た時はとっても小さくてびっくりしたし、早くお腹の中から出してしまっごめんね、と自分を責めることもあったけど、すくすく成長していく姿を見てとても嬉しかったし楽しく子育てできました！1人じゃなく、周りのみんなにたくさん助けられました。

(26週、596g出生、現在8歳)

○初めて見た我が子は小さすぎて触れることすら怖かった。頑張って生まれてきてくれたんだと毎日涙でした。今も大きい方ではないけれど、成長を日々感じています。

(30週、974g出生、現在3歳)

○出産おめでとうございます、と言われたが涙しか出てこなかった。こんな小さく生まれた我が子、この世で生きていけるの?と不安しかなかった。この週数は過去10~15年のデータでは生存率0と言われていた。面会に行くたび体重の変動で一喜一憂していました、現在発達は緩やかですが、9キログラム前後ありしっかりと歩き元気いっぱい生きています。

(22週、275g出生、現在1歳5ヶ月)

○早く生まれて家に帰るのも遅くなったけど、その分病院でたくさん大事に見てくれたので不安はなかったです。

(33週、1,460g出生、現在1歳)

○小さく生まれてきて、自分を責める日々でしたが、一生懸命に生きている姿を見て、自分も頑張ろうと思った。

(28週、799g出生、現在2歳)

○入院は長く感じますが、面会に来れば可愛くて時間があっという間に過ぎました。初めて抱っこしたときの嬉しさは忘れられません。

(29週、948g出生、現在5歳)

○いろいろ考えると、ネガティブ直線になってしまうので、その時できることを全力でやっていくようにしていた。

(32週、1,507g出生、現在1歳)

○最初は不安だらけだったけど、小さくなっていく姿を見て不安がなくなっていく。子供の強さに救われました。

(26週、747g出生、現在4歳)

○出産直後、手のひらほどの小さな体で精一杯動く姿を見て、申し訳ない気持ちだったのは、この世に早く生まれたかったんだなあと気持ちを切り替えられました。早く生まれた分の人生を親子で楽しんで行けたらと思っています。

(29週、1,218g出生、現在2歳)

○今日生まれます。と言われたとき、不安でいっぱいだった。保育器の中の姿に心痛くなったけど、子供の成長はすごい。毎日少しずつ増えていく体重が楽しかった。

(32週、1,902g出生、現在1歳)

○初めて見た時は、感動と不安が混じり気持ちが複雑でした。入院中いろいろありましたが、抱っこすることやミルク、母乳をあげることの楽しさを考えながら面会しに行きました。小さく生まれましたが、大きく成長できてうれしいです。

(24週、668 g出生、現在1歳)

○はじめの出産で、右も左もわからず、落ち込んだ時期もありましたが、身の回りの支援に支えられていたり、社会の支援に気づき、感謝の気持ちがこれまでになく大きくなりました。目の前のことを一生懸命やっていたら大丈夫だと思います。

1人じゃない！大丈夫！

(23週、537g出生、現在8歳)

○生後2〜3ヶ月まで吸う力が弱く、おちよぼ口でうまく吸えず、身体も辛く、混合栄養に。4ヶ月ごろから上手に吸え、気持ちに余裕ができた。子供もとても頑張っていて、今では早産児に見えないくらいに成長しました。

(32週、1,954g出生、現在2歳)

○初めて抱っこした息子はとても小さくて不安でしたが、NICU、GCUのスタッフさんに支えられて前向きになりました。

(33週、1,772g出生、現在1歳)

○最初はとても小さく、手足も触ったら壊れてしまいそうで、ドキドキしましたが、3年後にはまるまる太って抱っこするのも大変になっています。子供の生命力と笑顔にたくさん励まされながら成長を見守っています。

(32週、1,800g、現在3歳)

○初めてあなたを抱っこした日のことを今でも覚えているよ。802g…軽くはなかった命の重さでした

(802g、現在6歳)

ONICUで6ヶ月、毎日通っていました。その時に先輩ママからのアドバイスがとても励みになりました。当時は1年後2年後のことを考える余裕がなかったのですが、子育て日記、日誌を子供たちと一緒に読みました。生まれてくれてそしてすくすく育って、本当にありがとうございます。児童デイの利用、相談員さん、福祉サービスの利用等、市町村のサービスを大いに利用してほしいです。

(27週、828g出生、現在8歳)

ONICUに行くのが毎日楽しいですよ。小さく生まれても元気にすくすく育ってます。

(34週、1,726g、現在5歳)

○小さく生まれて初めは心配、不安が多かったけど、今では元気に成長して、あばれまわってます。

(23週、1,440g出生、現在3歳)

○3児の母です。3人とも早産児で産むたびにどんどん小さい子が生まれて心配してましたが、全員元気です。長女2218g、長男1660g。NICUのスタッフの皆さんには大変お世話になりました！ありがとう。

(27週、649g出生、現在1歳)

